

## 白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和6年2月）

令和6年2月の白石踊に関わる高校生の活動について報告します。

### 1. 定期練習会

2月13日に白石踊会の方々が私たちの通う英数学館高校にお越しくださり、白石踊を教えてくださいました。そのときに2月17日には笠岡中央公民館で白石踊の定期練習会が有ることを知り、私たち3人は定期練習会にも参加しました。

私たちが白石踊の講習会に参加したのは、白石踊がユネスコの無形文化財に認定されており、こんなに身近に素晴らしい伝統芸能があることに驚いたからです。

講習会では、細かい手の動きや足の運び方について教えてもらいました。一つひとつの動作に意味があり、合掌には供養の気持ちが表されていることに奥深さを感じました。白石踊を伝承されている方々は高齢化が進み、私たち若い世代への期待があるそうです。あるときは優しくあるときは厳しく教えてくださいましたのも、この伝統芸能を絶やしてはならないという思いがあるからなのだなと感じました。私たちはこれからも練習を続けていきたいです。（文章と写真：尾崎佳歩、片山あおい、船木葵生）



### 2. おかやま新聞コンクール 郷土賞受賞

今年度1年間、高校2年生の探究授業で白石島・白石踊について取り組んできました。その中で、白石島と白石踊についてより多くの方に知ってもらおうと思い、調べたことや実施した活動を掲載した新聞を作って第13回おかやま新聞コンクール 新聞づくりの部に応募しました。その結果、岡山県町村会会長賞＝郷土賞を受賞することができました。

2月25日（日）には、山陽新聞本社さん太ホールで行われた表彰式にも参加しました。

私たちが白石踊について取り組む授業自体は今年度いっぱい終わりとなりますが、個人として、これからも白石踊の魅力を伝えていきたいと思います。

（文章と写真：斯波里仁、難波凜久、原田優雅）



### 3. この1年間の白石踊についての活動を通して

私は倉敷翠松高等学校の探究活動の授業で白石踊を受け継ぐ活動をしています。最初に複数の講座から選択するとき、伝統ある文化を受け継ぐ活動と知って興味がわき、選択しました。受け継ぐと言っても何をするのか分からず心配していましたが、活動を重ねるごとに様々な活動があり、受け継ぐということの意味が分かってきました。

まず、笠岡中央公民館で行われている白石踊の定期練習会に参加し、2種類の踊りを教えてもらい、覚えることができました。次に、白石踊会の方々が講師として倉敷翠松高等学校に来てくださりました。そこでさらに1種類の踊りを覚えました。夏には白石踊鑑賞体験ツアーに参加させてもらい、白石島内を見学して白石島の良さを知ることができました。

その他にも、コノヒトカン1000 缶プロジェクト、高校生ボランティア・アワード、その他コンテストへの出場や県外の高校との交流など、多くの活動をしてきました。

私はこの活動を通して、白石踊はなくてはいけない伝統だと感じました。これからも、もっと多くの方に白石踊を知ってもらえるように、白石踊を守っていきたいです。 (文章：諏訪瑞季)



### 4. 第4回 BeLive 参加

高校生がSDGsに関する取り組みをプレゼンする「BeLive」が山陽新聞社さん太ホールで行われ、倉敷翠松高校の私は、後継者が不足している白石踊を継承することで文化振興も図るために自分たちが行ってきた活動を説明しました。参加する12校の内トップバッターとしての発表でした。そのため、質疑に答えられるかなど少し不安でしたが、自分なりに思っていることを伝えられました。

賞を貰うことはできませんでしたが、白石踊と白石島の魅力と現状を伝えることができたと思います。とても貴重な経験となりました。 (文章：美濃育弥)



以上